

2025年度

東京女子大学大学院学位授与式

2026年3月17日 午後2時
東京女子大学チャペル

学位授与式次第 (大学院 第54回)

司 式 大学宗教委員長 遠 藤 勝 信
奏 楽 大学オルガニスト 中 内 潔

前 奏

讃 美 歌 2 8 5 番 一 同

聖 書 フィリピの信徒への手紙 第4章8－9節 司 式 者

祈 禱

学位授与 学長 森本あんり

告 辞 学長 森本あんり

祝 辞 大学院合同研究科会議議長 安 藤 耕 司

讃 美 歌 第Ⅱ編46番 一 同

後 奏

フィリピの信徒への手紙 第4章8－9節

終わりに、兄弟たち、すべて真実なこと、
すべて気高いこと、すべて正しいこと、すべて清いこと、
すべて愛すべきこと、すべて名誉なことを、
また、徳や称賛に値することがあれば、それを心に留めなさい。

わたしから学んだこと、受けたこと、
わたしについて聞いたこと、見たことを実行しなさい。
そうすれば、平和の神はあなたがたと共におられます。

讚美歌 285番

Thy way, not mine, O Lord
Horatius Bonar, 1857

JEWETT
Adapted from Carl Maria Friedrich Ernst van Weber,
Frischütz, "Overtüre", 1820

主よみてもてひかせたまえ
ただわが主のみちをあゆま
いかにくらくけわしくとも
みむねならばわれいとわじ

マルコ 14:36

1 主よ、み手もて ひかせたまえ。
ただわが主の 道をあゆま。
いかに暗く けわしくとも、
みむねならば われいとわじ。

2 ちからたのみ 知恵にまかせ、
われと道を えらびとらじ。
ゆくてはただ 主のまにまに
ゆだねまつり 正しくゆかん。

3 主よ、歎むべき わがさかずき。
えらびとりて さずけたまえ。
よろこびをも かなしみを、
みたしたもう ままにぞ受けん。

4 この世を主に ささげまつり。
かみのくにと なすためには、
せめもはじめ 死もほろびも、
何かはあらん、主にまかせて。

讚美歌 第II編 46番*

Come, all who love the way of truth
詞: Edmund Charles Blunden, 1950

ETHNOL
曲: 17世紀イギリス民謡
(補曲) 黒沢敬一 1950

まことをあいするすべてのとよにけ
きたれやわれらのまなびのそのにけ
だかきころをそだてはぐくむうえなきえ
いちをともにぞたえ 4.ゆ たけきめぐみのす
べてにまし て主イエスのことばをわれらははこらん

1 真理をあいする すべての友よ
きたれや我らの 学びの園に
気高きころを 育てはぐくむ
うえなき英知を 共にぞたえん

2 あかるき遊びと 笑いのために
たのしき学びと 憩のために
あまたの師友を 知り得たために
喜びあふれて 我らはうたわん

3 芝生に林に におえる花と
さえずる小鳥と 飛び交う虫と
くすしき自然の 言葉のために
つきせぬ感謝を 我らはささげん

4 ゆたけき恵みの すべてにまして
主イエスの言葉を 我らは誇らん

*この讚美歌は英詩人故 Edmund Blunden O. M. が当時の学長斎藤勇博士の要請に応じて1950年
作詩された本学の College Hymn の翻訳です。訳者は由木廉氏です。